

腸重積症に関する診療情報を研究に利用することのお知らせ

1) 研究の概要

腸重積症は日常的に経験する代表的な小児救急疾患で、適切な診断が行われず発見が遅れると場合によっては死に至ることもあります。小児救急外来に携わる者は急性腹症で受診した患児に対し必ず鑑別に挙げなければならない疾患の一つが腸重積症です。治療は高圧浣腸を行い整復を試みますが、整復できない場合は開腹による整復を速やかに行う必要があります。

腸重積症に対して小児救急医学会が 2012 年に診療ガイドラインを刊行しました。当科ではエコーガイド下に生食による整復を行っています。この方法はガイドライン上では高圧浣腸の条件としては高さ 100~120cm を推奨しており、整復回数や整復時間については透視検査ではないので被爆の問題がなく、よって整復回数や整復時間の制約は少ないとしています。より詳細で明確な基準は設けられていないのが現状です。

当科では 2004 年から現在のエコーガイド下整復を開始し、2011 年に決められた整復条件を診療録に記載しはじめました。今回 2011 年以降における高圧浣腸整復の成績および整復時の条件をまとめ、当科の方法の有用性を検討します。これにより、より至適条件での整復を行うことができ、高圧浣腸を最小の合併症で最大の効果が得られるようになることが期待できます。

この調査研究では、2011年11月から2016年10月までの5年間に当科にて腸重積症に対し高圧浣腸を行った症例を、当院診療記録を用いて下記の情報を集めます。新たな質問や検査の必要はありません。

- 患者さんの基本的な情報
(生年月、性別、身長、体重、今までにかかったことのある病気)
- 発症時の臨床情報
(診断確定日、症状の種類、症状の有無、整復後再発の有無など)
- 血液検査結果
(血液ガス)
- 高圧浣腸整復の可否
- 治療の内容
(整復条件など)

2) 病院名及び研究責任者の氏名

【実施医療機関の研究責任者及び緊急連絡先】

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

TEL : 086-294-9911

【研究責任者】小児外科 医師 片山 修一 (客員研究員)

【緊急の場合の連絡先】

研究分担者：小児外科 副院長 後藤 隆文

小児外科 医長 中原 康雄

3) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手・閲覧の方法

この研究は、通常の診断や治療の中で得られた診療情報を収集する研究です。より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときには、研究担当医師までご連絡ください。この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等に支障がない範囲で研究計画書の閲覧や説明を受けることが可能です。

4) 個人情報の開示について研究対象者及びその関係者からの相談等への対応に関する情報

この研究で得られた結果は、あなたの個人情報（名前や住所、電話番号など）に係わる情報を切り離してから、データセンターに提出いたします。そして、他の病院から集められた結果とともにまとめられ、学会や医学雑誌などに発表されることもあります。ただし、いずれの場合にも、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

この研究の関することについて、わからないことや、聞きたいこと、また何か心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく研究担当医師におたずねください。

5) 試料・情報の利用を拒否できる旨

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当医にお申し出ください。